

令和2年度の学校評価

本年度の 重点目標	①新しい学習指導要領に対応する教科指導法を研究・実践するとともに、より高い規範意識を確立する。 ②キャリア教育の理念に立った、継続できる進路指導計画を探究する。 ③教職員の多忙化を解消するために、日常的な勤務時間の軽減を図る。		
項目 (担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
学習指導 (教務部) (進路指導部) (学年会) (教科会) (生活文化科)	意欲的、継続的な学習習慣の確率	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的な学習項目の提示と学習意欲を高める授業展開</li> <li>学習記録の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習項目と目標を明確にし、新しい学力観をふまえた自主的な学習を増やす取組をする。</li> <li>基本事項の積み重ねが進路実現の第一歩であることを自覚させ、家庭学習を重視する姿勢を養わせる。</li> </ul>
	授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>新学習指導要領を先取りした対応と授業改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新学習指導要領を見据えて、教科主任会や学年会を通じて学習への意欲向上を図る。</li> <li>言語活動を充実し、生徒の学習意欲を向上させ、学習内容の確実な定着を図る。</li> </ul>
	キャリア教育の実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育全体、特に授業の中でキャリア教育を行う</li> <li>主体的に学ぶ意欲の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア教育を推進しながら授業改善に取り組み、生徒の主体性を育む。</li> <li>講演会や全体集会の振り返り活動を充実させ、生徒の主体的意欲を高める。</li> </ul>
進路指導 (進路指導部) (学年会)	3年間の進路指導計画の確立と工夫改善のための研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>時代のニーズに即応した進路指導の模索</li> <li>効果的かつ合理的な進路指導計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア教育の視点に立った進路指導の在り方を工夫し、時代や生徒の変化に敏感に対応できるような進路指導を実践する。</li> <li>生徒の実態と進路希望を丁寧に分析し、より効果的な指導・情報発信の在り方を確立する。</li> </ul>
	進路目標の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路目標の早期設定とその具現化</li> <li>就職指導・キャリア支援の一層の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでのキャリア教育の取組を一層充実させ、特に探究活動の充実を目指す。</li> <li>地域保護者が求めている進路実績を目指し、社会から期待される安高生を育てる。</li> </ul>
生徒指導 (生徒指導部) (学年会)	基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>遅刻防止の徹底</li> <li>身だしなみや挨拶、マナーの日常指導の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年団と協力し、始業5分前登校を習慣付ける。</li> <li>教員の共通理解と、予防的な指導のための体制づくりに取り組む。</li> </ul>
	自己防衛力の育成と問題行動の防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全指導の充実と規範意識の涵養</li> <li>いじめ防止対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>警察やPTAとの協力関係を維持し、自転車運転のマナーを向上させる。規範意識や社会的常識を高め地域から期待される人材の育成を目指す。</li> <li>いじめの未然防止、早期発見に取り組む。</li> </ul>
生徒会活動 (特別活動部) (学年会) (生活文化科)	安高祭の更なる充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校全体でよりよい安高祭を作り上げる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラス、学年、部活動など、つながりを持ちながら、生徒や教職員が一丸となって取り組む。</li> </ul>
	部活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動環境の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員全体の理解と協力のもと、学業と部活動の両立を意識付けるようにする。</li> </ul>
学校安全 学校保健 (総務部) (保健相談部)	防災意識の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災避難訓練の実施</li> <li>防災教育の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月、9月に防災訓練を実施し、避難経路と防火・防災組織を確認するとともに、現実的な避難訓練を模索する。</li> <li>防災教育を実施し防災意識の高揚に努める。</li> </ul>
	主体的に行動できる能力や態度を育成する	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境美化活動の推進</li> <li>自己の心身の健康管理に努める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主的に清掃に取り組ませ、清潔な環境づくりに努める。</li> <li>心のアンケート、相談日より等を活用した、相談しやすい環境づくりに努める。</li> <li>自殺予防教育を念頭に置いた心の教育、援助希求能力向上に努める。</li> </ul>
研修 (図書研修部)	教員の指導力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種研修の充実と各種研究会の広報</li> <li>授業研究の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育センターでの各講座や、他校での研究報告会などに関する情報を積極的に伝える。</li> <li>研究授業など、教員の授業改善につながる取組への積極的な参加を呼びかける。</li> </ul>
学校関係者評価を実施する 主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア教育の理念に立った教育活動の実践</li> <li>勤務時間の適正な管理と健康増進</li> </ul>	